

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月		記入者	連絡先	2713
部 名	経済部	課 名	商業サービス業課	課長名	加藤一嘉
事務事業名	新事業創出促進事業				
予算上の事務事業名	チャレンジショップ支援事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31430		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第4節 商業・サービス業の振興				事業開始年度
施 策 名	第3施策 高感度な商業・サービス業の集積				平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市チャレンジショップ支援事業奨励金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>独創的なアイデアでの新規創業、新商品や新サービスの開発等による新たな業種・業態への転換など、産業創造センター機能を活用し、熱意と独創性にあるる商業者の創出を促進し、育成することを目的とする。また、こうした商業者を市内の空き店舗への入居促進を図り、市内商業機能を向上させるとともに、周辺店舗や商店街全体へ新しい可能性を示唆するなど、商業や商店街活性化の起爆剤とする。</p> <p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>新規創業者及び小規模商業者</p>				
<p>○奨励金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街の空き店舗を活用して開業する場合 改装費：50%以内、限度額300万円 賃借料：50%以内、年額120万円（最大2年間、敷金・礼金管理費は対象外） 商店街以外の空き店舗又は新規テナントに入居する場合 改装費：30%以内、限度額180万円 賃借料：30%以内、年額72万円（最大2年間、敷金・礼金管理費等は、対象外） <p>○チャレンジショップセミナー開催 創業にあたっての基礎的知識を習得する場としてセミナーを開催した。（2日間×2回）</p> <p>○PRポスター作成</p> <p>○ビジネスプラン審査、指導業務委託 事業認定者いかに、さがみはら産業創造センター登録コーディネーターによる開業に向けたコーディネート（プランブラッシュアップ）を行った。</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況	<p>チャレンジショップ支援事業については、自治体や商工会議所、TMO、地域まちづくり会社等の実施主体により全国的に取り組みされている事業であるが、自治体が直接実施している事例は少ない。</p>				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	5,747	10,064	6,264	16,882	16,912
一般財源	5,747	10,064	6,264	16,882	16,882
受益者負担金	-	0	0	0	30
その他の特定財源	-	0	0	0	0
人件費の合計	5,252	5,034	3,286	3,286	3,286
事業コスト合計	10,999	15,098	9,550	20,168	20,198
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	奨励金の交付			対象名称 と単位	補助金交付件数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	5,109	9,428	4,648	14,848	14,848
対象数	8	9	5	6	8
単位あたり経費(円)	638,625	1,047,556	929,600	2,474,667	1,856,000
前年度比		1.64	0.89	2.66	0.75

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	チャレンジショップセミナー参加者（人）	指標式と指標の説明	セミナー参加者の合計（定員：60名）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	-	42.0	51.0		
目標	-	60.0	60.0	60.0	60.0
目標達成度（%）	-	70.0	85.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	開業件数	指標式と指標の説明	開業件数：実際に開業した件数（年度別）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	-	3.0	1.0		
目標	-	3.0	2.0	6.0	6.0
目標達成度（%）	-	100.0	50.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		チャレンジショップ支援事業については、累積の応募者が144名であるのに対し、入選者は18名と狭き門となっている。さらに、今後団塊の世代の大量退職が見込まれるなど、今以上の需要増加が考えられる。このような状況に対応するため、より使い勝手がよく、実効性が上がる事業となるよう見直しを行う。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
開業にあたっての基礎的知識を習得するためのセミナーについて受講料を一部有料とし、適切な受益者負担を確保すると共に、セミナー内容の向上を図る。また、奨励金などの資金面での支援以外に開業前から開業後までの、一連した経営面での支援を行なうなど見直しを行なう。また、ニーズの高い空き店舗対策については、効率性、実効性をより一層向上させるため、地元商店会や地権者と連携を図るなど運用面で見直しを行なう。			チャレンジショップとしての獨創性、話題性、集客性などの魅力の創出や空き店舗解消のため入選者を増やし、開業機会を拡大するとともに、当該事業を活用し開業した入選者が早期退店することがないように、支援効果が充分発揮される方策を検討し、継続性を確保することが課題である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		商業支援策全体の見直しの中で、事業目的の成果を高めるように見直しする。また、セミナーについては、受益者負担を検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			